

外部専門家・自立活動連携相談について

自立活動係では、職員の専門性や指導力向上のために、外部専門家の先生をお呼びしております。今年度も4名の先生が来校していただき、連携・相談を行いました。

- 理学療法士 (PT)
- 言語聴覚士 (ST)
- 作業療法士 (OT)
- 作業療法士 (心理士)

※作業療法士の先生には、心理面においてもカバーしていただける研修を行っております。

外部専門家の先生方とは、自立活動の指導を充実させるために、困難さの背景要因を探る視点で連携・相談を行っており、直接的な指導の改善を図るための話し合いなども行っております。

今回は、言語聴覚士 (ST) との相談について報告させていただきます。

【言語聴覚士 (ST)】

言語聴覚士 (ST) は、話す、聞く、表現する、食べるなどの専門家です。話すことができる筋道 (発達) を詳しく教えていただけます。今回は、音を正しく発音するトレーニング方法や色や物の名前を正しく覚えるためのトレーニング方法などについてご指導いただきました。ご指導いただいた事例についていくつか紹介します。

◎音を正しく発音するトレーニング方法

・口の体操……頬っぺたを膨らます、すぼめる、口を「あ」の形で大きく開く、「う」の形で強く前に突き出す、「い」の形で口を横に大きく広げる、「べー」の形で舌を下方向に出し伸ばすなどの口の動きを行う。

・音の聞き分け練習……教師が「か」や「た」を言い、机に置いている「か」と「た」を取る聞き分け練習方法。

児童生徒の実態に応じて教師の口元を隠して行っても良い。

・すごろく……①言葉の数サイコロ

「1:め 2:かさ 3:さかな 4:けしごむ 5:エビフライ 6:おこのみやき」のようにサイコロに絵と単語をふり、出た言葉の数だけ駒を動かしていく。

②「○行」すごろく

すごろくマップのマスを「くじゃく」や「かびん」などの単語にし、止まったマスに書かれた単語を読む。

※すごろくを行う際は、音韻意識の練習として、一音ずつ読みながら手をたたくようにする。

◎色や形を正しく覚えるためのトレーニング方法

・赤・青・黄色・緑の4色を用いた形カード (○・△・☆) を用意する。※実態に応じてカードは減らしてもよい。

・ゲーム開始前に色の確認をする。

→色の名前が覚えられていない児童生徒には、「リンゴの赤」や「バナナの黄色」など児童生徒がイメージしやすい言葉を伝えたり、色の理解が難しい場合には、その色を見せたりする。

・教師から言われたカードを取る練習をする。慣れてきたら3人組で、指示する人、カードを取る人でゲームをしても良い。

→悩んでいたら、「バナナの？」などのヒントを伝え、色や形のイメージをしやすいようにする。



【口の体操の様子】



【か行すごろくの様子】



【色・形カード取りの様子】